

## 猫の飼い方

ページ番号 : P-001109

人と猫とが共存し、猫が及ぼす弊害や飼い主のいない猫を減らして、誰もが快適に暮らせる街にしましょう。



**飼い猫か野良猫の区別をするために首輪などをつけ、飼い主の名前と連絡先を明記しましょう。**

- 保護されても、飼い主がわからないために別の方に飼われたり、動物指導センターへ引き渡されてしまうこともあります。
- 身元表示のポイントは、猫の名前だけでなく飼い主の名前と連絡先を明記することです。
- また、マイクロチップがつけてあれば、万が一首輪が抜けてしまっても身元がわかり、迷子防止に非常に有効です。  
※マイクロチップは、動物病院でつけられますので病院で相談してください。

**自宅敷地内で飼育をしましょう。**

- 交通事故や感染症から猫を守るために自宅敷地内で飼育しましょう。また自宅以外の他人の土地でふん尿をした場合、周囲に迷惑をかけてしまいます。自宅や敷地内に猫トイレを作り、そこにふん尿をするしつけをしましょう。

**飼い主のいない猫を減らしましょう**

- 野良猫に対して無責任なエサやりはしないでください。トラブルの原因になるだけでなく、不幸な猫を増やす原因にもなります。
- 飼い猫として愛情をもって室内で飼うか
- 地域猫として地域で飼うか

周辺地域において野良猫の増加やフン被害等で迷惑をかけることのないようにしましょう。

○地域猫：近隣の方の理解を得て、不妊・去勢手術とトイレの設置、排泄物の回収等をし、地域

で管理する猫のこと

\* 地域猫活動を複数人において実施する場合は不妊去勢手術に対して助成制度があります。  
(茨城県のホームページへ)

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/seiei/kankyo/seiei/satsushobunn0project.html>

小美玉市では当事業を利用し、平成29年度一地区において2頭の避妊去勢手術を行ないました。

## TNR活動について

猫を捕まえ (trap) 不妊・去勢手術をし (Neuter) 元の場所へ戻す (Return) TNR活動により、不妊・去勢手術を実施した猫は、他の猫と区別するため片耳の先を三角にカットします。その猫は、耳の形からさくらねこと呼ばれています。

飼い主のいない猫による、さまざまな相談がよせられます。しかし直接対処することが難しく、また猫は繁殖力が強いことから不幸な命が増えやすい動物です。

このような問題に対して、「TNR活動」を行うことは、自然減少・頭数抑制等を行うことが期待でき、トラブルを未然に防ぐことにつながると考えられます。

小美玉市では茨城県動物愛護推進員、動物病院にご協力いただき、平成29年12月から3月にかけて市内某所にてTNR活動を実施しました。計12頭の猫を捕獲し、不妊去勢手術を行いました。この「さくらねこTNRは、猫や犬とヒトが幸せに優しく共生できる社会を目指す公益財団法人どうぶつ基金と小美玉市の協働事業です。」

○公益財団法人どうぶつ基金とは

動物の適正な飼育法の指導・動物愛護思想の普及等を行い、環境衛生の向上と思いやりのある地域社会の建設に寄与することを目的とする団体です。

(公益財団法人どうぶつ基金のページ)

<https://www.doubutukikin.or.jp>

## 小さな命を大切にしましょう。

- 動物を捨てることは、動物愛護法に違反する行為です。
- 予期せぬ繁殖による不幸な命を減らすためにも、避妊・去勢手術をしましょう。

## 問い合わせ先

市民生活部 環境課 環境衛生係

[このページの先頭へ](#)

掲載日 平成30年3月22日 更新日 平成30年3月23日